専門教育科目 講義科目

授業科目名	ケースで学ぶ管理会計	科目コード	配当年次	単位
担当教員	中村　俊紀	EK10	3・4	2

科目の概要

管理会計は、企業内部の経営管理者に対して、経営管理に有用な会計情報を提供することを目的としており、ビジネスの成否の裏には管理会計の優劣が存在している。
本科目は、書籍『ケースで学ぶ管理会計』をもとに、ケースを通じて管理会計が企業内部の意思決定やビジネスの成否にどのような影響を与えているかを理解し、管理会計の理論や分析手法を学修することを目的としている。

科目の到達目標

①管理会計の基本概念や専門知識を修得し、ケースに基づいて説明することができる。
②企業経営における管理会計上の課題を理解し、管理会計の知識を用いて経営分析することができる。

テキスト	『ケースで学ぶ管理会計』金子 智朗,同文舘出版,2014年

テキストの読み方

①管理会計は、企業内部の意思決定や行動に有用な会計情報の提供を目的としており、企業経営（マネジメント）のための会計と位置付けられる。企業の重視する指標は様々であり、管理会計では企業の目的に合った会計情報を作成し、有用することが求められている。
②テキストでは、実際のビジネス現場において、管理会計の理論や手法がどのように活用されているかについて、企業のケース（事例）を通じて書かれている。
③管理会計の諸理論を学修する際には、ケーススタディの中で、管理会計の知識がどのような文脈で使われているのかを確認し、その因果や論理を考えながらテキストを読むことが大事である。

単位修得の方法

リポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、２単位を修得できる。